

[illegible]

「主の恵みに心から感謝しよう！」

～神さまの愛と恵みを伝える使命を果たし続ける～

「彼らは神をたたえ、感謝する歌を歌いました。『主はすばらしい。その愛と恵みは、とこしえまでもイスラエルに。』これを受けて、民はみなが大声で賛美し、土台の完成を喜びました。」

エズラ記3章11節〔リビングバイブル〕

漢字検定協会が発表した今年の漢字は「災」でした。

皆さんの今年一年を表現した漢字は何だったでしょうか？

私は主にあつて、昨年も、今年も、来年も一年を表わす漢字を「謝」としたいと思います。それは、たとえどんな出来事が私たちの周りで起こったとしても、変わることなく、私たちは私たちを守り導いてくださる牧者なる主に対して、「感謝」をお伝えしたいからです。

三重苦といわれる障がいと共に歩んだヘレン・ケラーはその自叙伝の中で、

「神さまは、私を子として扱い、私をこらしめ、その光を消すことによって、目が見えず、耳の聞こえない人々を助けようとしたのです。神さまは私を、語ることのできない人々の口となるように、そして、目が不自由で力弱い人のために、手となり足となるように、私に使命を与えてくださったのです」と語っています。

しかし、実際には神さまは彼女をこらしめたり、光を消したりしたわけではなく、それ以上にその弱さを通して彼女を用いようとなさったのだと思います。そして、神さまは、彼女を直接的に導くために、サリバン先生を用いられました。

サリバン先生は、その全生涯に渡ってヘレンを支え導いた存在でもありました。

ヘレンはサリバン先生が亡くなった時に次のような言葉を語りました。

「暗黒の世界にいた私を導いて、愛と夢とできれいに つむいだ黄金の時を与えてくださったサリバン先生。あなたは、美しい思想の世界にも私を連れて行ってくださいました。

愛も美しく私の心に咲いたのです。やがて春は、幼年時代の黙り込んだ日陰の片隅にも楽しく歌い始め、盲目で暗黒な夜にも、見えないながら、美しい星が輝くようになりました。

そして、私の体の錠前のおりた戸が開かれるにつれて、私の心は歓喜におどり、私の足は歌う海辺を歩む喜びにひたるようになったのです。

太陽の光が大地にあふれるように幸福が私の全存在に満ちあふれ、私は両手を差しのべて人生を追求します。…。

サリバン先生は、自分のような者のために、その一生をささげて死んでいかれた。それこそ完全な奉仕であった。残された私こそ、先生の精神を受け継いで、先生から灯された愛の光を高く掲げつつ、自分と同じように苦しんでいる人々のためにこの身を捧げよう！」

私たちも私たちが遣わされた人々の所へ行つて、主から頂いた愛と恵みをお届けする使命を与えられています。来年も私たちに与えられている慰めと希望のメッセージを大胆にお届けしていきたいと心より願っています！共に歩み進みましょう！